

N2を取ろう！

●4年間で卒業するために●

ゼミ I ・ゼミ II ・卒業制作の履修条件について

日本語学習の重要性

日本語能力試験(JLPT)N2以上に合格しなければなりません。

合格しないと、3年生後期の「ゼミⅠ」を履修できません。

大学を4年間で卒業することができません。

日本語の勉強はとてむたいせつです。

受験の機会はたった4回しかありません。

①1年次の夏(7月)→まずはどんな試験か受験してみましよう！

②1年次の冬(12月)→どのくらい勉強したか受験してみましよう！

③2年次の夏(7月)→余裕をもって、ここで合格しましよう！！

④2年次の冬(12月)→保険です！ここが最後のチャンス！！

卒業要件

●3つあります

①4年以上の在学期間があること

→休学は在学期間に含みません。

②必修/選択必修科目の単位を全部取得していること

→必修科目には「再履修」があります。必ず単位を取らなければなりません。

③必修/選択必修科目の単位を含めた124単位以上取得していること

→123単位では卒業できません。留年して卒業します。

進級要件

●3つあります

①3年以上の在学期間があること

→休学は在学期間に含みません。

②必修/選択必修科目の未取得単位が4単位以内であること

→必修科目には「再履修」があります。必ず単位を取らなければなりません。

③必修/選択必修科目の単位を含めた90単位以上取得していること

→②で説明のとおり、未取得単位は4単位以内までです。

ゼミ I ・ゼミ II ・卒業制作は必修科目

●つまり、これらの単位を取ることができないと、卒業できません。

→留年して卒業します。4年間で卒業できません。

●まずゼミ I (3年後期)、次にゼミ II (4年前期)・卒業制作(4年通年)を履修します。

→「ゼミ I に入ることができません＝留年します」と理解してください。

●ゼミ I を履修するには、N2が必要です。

→入学してから、4回しか受験の機会がありません。

ゼミ I の履修条件

2018年12月(2年次後期)までに受験して合格しました。



「ゼミ I」履修条件の一つを満たしました。

ほかに下記の場合は「ゼミ I」の申請ができません。

- ・2年次後期修了時点で取得済単位数が45以下
- ・3年次前期修了時点で取得済単位数が67以下の場合は申請取消

※上の条件が全部合格の場合

→3年次後期に「ゼミ I」を履修します。

ゼミ I の履修条件

2018年12月(2年次後期)までに受験して合格しませんでした。

N2はありません。



「ゼミ I」は履修できません。



留年します。



うちの人に学費や生活費の相談をしてください。4年で卒業できません。

合格証書を提出してください

● デジキャンから証書をアップロードしてください。

● 受験した場所が日本国内か国外かで証書が届く時期が異なります。

※ 日本国内

- ・ 7月受験：9月上旬着
- ・ 12月受験：2月上旬着

※ 日本国外

- ・ 7月受験：10月上旬着
- ・ 12月受験：3月上旬着

合格証書を提出できないとき

●証書をなくしてしまいました。

→JLPT事務局に連絡して証書を発行してください。

(<http://www.jlpt.jp/faq/index.html>)

※国内受験：日本語能力試験受付センター(<http://info.jees-jlpt.jp/>)

※国外受験：下記から一択

・国際交流基金(<http://jlpt.jp/contact/index.html>)

・受験地の実施機関(http://www.jlpt.jp/application/overseas_list.html)

●再発行できません、と言われてしまいました。

→もう一度受験して、合格証書を提出してください。

※**口頭による合格申告は一切認めません。証書を提出してください。**

関連サイト

- 日本語能力試験

<http://www.jlpt.jp/index.html>

- 日本国際教育支援協会 (My JLPT IDの管理)

<http://info.jees-jlpt.jp/>

- 国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/j/>